
中小企業だからこそ 実現できるDCの形

「やれない」ではなく「やれること」から始める運営戦略

2026年6月2日
株式会社仲臺事務センター
藤田みさ子

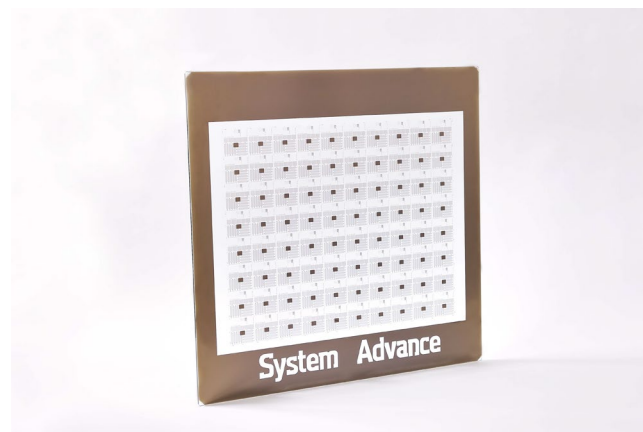
企業紹介

株式会社システムアドバンス

従業員数：99名

主な事業：フォトマスク製造販売

クラフトビール（新座クラフト）製造販売



<https://www.sys-ad.com>

株式会社仲臺事務センター

従業員数：2名

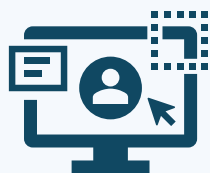
主な事業：事務受託業

損害保険代理店



<https://niiza-craft.jp>

退職金制度の構成



退職金制度

退職金制度+企業型DC

将来の安心と自助努力を支える
ハイブリット構造を採用



運営体制

グループ規約による運営

加入対象者85名
2社連携により中小規模でも
スケールメリットと数的優位を確保

企業規模格差を強みに変える

中小企業の課題と可能性

大手企業のような組織的運営は物理的に困難だが、それを理由に加入者に不利益が生じないように制度運営を行う(工夫する)ことが重要

- 組織力不足という現実を直視
- 小規模ゆえの機動力と「数的優位」を活用
- 少人数を活かしたきめ細かいサポートが可能

**「やれない」ではなく
「やれること」を探し
小さなことから始める**

中小企業だからこそ、一人ひとりにスポットを当てた運営を

取組事例の紹介

未指図者ゼロの徹底

加入時配分指定書の100%回収

Webサイト全員登録

加入時にWebサイト登録必須

記憶に残る継続投資教育

全員参加を必須
短時間にピンポイントで伝える
専門用語を使わない

マッチング拠出制度の積極的活用

自己資金投入により当事者意識
の向上

少人数の強みを活かし、小さなことを積み重ねる

中小企業が望む サービスと提案

企業規模格差による加入者不利益が生じないために必要なこと

中小企業DCのエコシステムの必要性



企業の制度運営をモニタリングする仕組み

企業の制度運営が正しく機能しているかを運営管理機関もしくは第三者機関が定期的にチェックする仕組み



補助金制度の創設

導入時および制度の安定的な運営のための持続的な公的支援

運営管理機関を支援する仕組みも同時に必要

中小企業DCのエコシステムの必要性



中小企業向け 情報共有基盤の構築

一社では難しいことも、コミュニティの力で
解決できるはず
中小企業が繋がるコミュニティの設置



第三者機関の創設

誰にも開かれた公平で使いやすい専門
的支援ネットワークの構築

中小企業の目指すべき姿

「数的優位」を運営に活かす

中小企業だからこそできる、顔の見えるサポートを制度運営の核心に

加入者自身の当事者意識向上

マッチング拠出や教育を通じ、従業員が「自らの未来」を描ける環境作り

共創するサポート体制

行政、第三者機関、企業が連携し、企業規模格差を生まないインフラの構築